

「OODA ループ」で紙コップタワーづくり (世代間プロ)

OODA ループというのは、観察 (Observe) 方向付け (Orient) 決定 (Decide) 活動 (Action) という頭文字です。「ループ」とは「繰り返す」という意味です。PDCA のように一定の方向に回すことを「サイクル」といいます。OODA ループは綿密な計画は立てませんが臨機応変に小回りをきかせて修正を素早くする方法です。



準備物：紙コップ 1 グループ 100 個 (50 個でもいい) 泥棒猫バッジ (シール)

活動目標：各グループ、OODA ループで考えて、できるだけ高い紙コップタワーをつかって競争しましょう。

活動ルール

- ①簡単な話し合いをして、グループ内で共有してできるだけ早くスタートする。
- ②間違いを非難しない
- ③泥棒猫バッジをつけた他グループからのアイデア泥棒は歓迎する。
- ④他のグループの効果的なアイデア積極的に活用して修正を加えてよい。
- ⑤グループのみんなが合意すれば いつでも修正可能です。



活動方法

泥棒猫モン

- ①試作してある紙コップタワーを見学して、本日の目標を確認する。 (観察)
- ②観察したものをみて、どうつくるかを簡単に話し合う。 (方向付け)
- ③つくる方法を決定する。 (決定)
- ④作り始める。 (活動)
- ⑤泥棒猫タイム (他グループ観察) (観察)
- ⑥再挑戦する。 (再ループ活動)
- ⑦最優秀グループを決める。

